

設 立 趣 意 書

(平成4年1月22日)

我が国における近年の拡大する経済社会活動と、豊かな物質文明は、私達に大量消費・使い捨てる生活様式をもたらしました。これとともに、ごみの排出量は増加の一途をたどり、その質も複雑多様化することによってごみの処理・処分の困難さは増大するばかりです。

今や、ごみは市民生活や経済活動を制約・阻害する要因ともなりかねず、ごみ問題の解決は快適な生活空間の維持、創出そしてより良き経済の発展のために必要不可欠な重要課題となっています。

この課題に対しては、これまでの「モノ」の生産・流通・消費・廃棄という一方的な流れを見直し、ごみとなった「モノ」は元来資源であるとの認識のもと、これを有効に利用し、ごみの減量化・再資源化に貢献し得る新しい処理システムの確立が必要です。また、同時に「モノ」を生産し、流通させる企業、消費する市民、ごみの処理を担う行政、そしてそれぞれの段階で研究に携わる学識経験者等ごみに関わるすべての関係者が協力し合い、各々の責任と役割を認識し、考え、学ぶことによって、ごみに対する社会の意識変革を促し、リサイクル型社会を構築することが求められています。

これらを実現することは、限りある資源を有効に生かし、ひいては地球規模での環境保全に資するという意味合いにおいて、資源輸入大国である我が国が国際社会で名誉ある地位に就くことの一助にもなりうるものであると確信します。

現在、吹田市においては、新しいごみ処理の中核施設として(仮称)資源リサイクルセンターを建設中です。そして、この施設の上部階ではリサイクル型社会への移行をめざして、ごみの減量化・再資源化・再利用を促進するため、さまざまな事業を展開してゆく予定です。しかしながら、これらの事業はひとり行政の力によってのみなすものではなく、先に述べたように企業・市民・学識経験者等ごみに関わる各界各層が相協力してこそ最も良くその効果が発揮できるものだと考えます。

こうした各界が協同して(仮称)資源リサイクルセンターをリサイクル型社会構築のための情報発信基地として大阪府域を対象に、ごみ、そしてこれにまつわる環境・資源等の問題について積極的に啓発活動・研究活動を行い、リサイクル活動を促進・支援し、来るべき21世紀をクリーンな地球環境の中で迎えるためのさまざまな取組みの一翼を担う主体として、ここに(仮称)財団法人千里リサイクルプラザを設立しようとするものです。

平成4年1月22日

設立発起人一同